

公表	事業所における自己評価総括表			
○事業所名	社会福祉法人偕愛会 つくしんぼ学級			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 14日 ~ 2025年 2月 25日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	38	(回答者数)	35	
○従業者評価実施期間	2025年 2月 14日 ~ 2025年 2月 25日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	30	(回答者数)	29	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・登園から降園までの時間が4時間程度あり、様々な活動に取り組んだり、給食や排泄に関わる時間もあったり、集団活動や個別活動に取り組む機会も持てるので、5領域を網羅した発達支援が可能である。	・各クラスのチーフが話し合って、活動内容を決める際に、季節や行事を意識したり、幼児期に園児に体験させたいことを盛り込んだりして、バラエティに富んだ活動内容になるようにしている。 ・支援目標となる行動を5領域に分けた「つくしんぼ学級の支援の目標」と児童発達支援計画作成時の「発達支援の目標の視点」を作成し、園児の支援目標を考えている。	・活動内容のねらいを明確にして、さらに園児ひとりひとりのねらいを整理して職員間で話し合って確認しながら、園児のスキルアップと余暇活動に繋がる遊びを中心とした集団活動に取り組んでいきたい。
2	・園舎全体としては広さがあり、園庭やグラウンドもあることから、遊ぶ場所が豊富である。クラス内にはパーティションで仕切っているため狭く感じることもあるが、保育室としての広さは十分確保できる。	・子ども同士のトラブルや怪我が起こりづらいうように、同じ場所で遊ぶメンバーや人数を調整して混み合わないようにしている。 ・周りの人のことが気になり過ぎる園児は、マンツーマンで対応したり、一人で遊べる場所を用意したりしてパーソナルスペースを確保している。	・遊びの幅を広げるための取り組みとして、設定された活動の時間を、少しづつ増やしていく。
3	・様々な職種、立場の職員があり、児童発達支援以外の事業も行っていることで、ご家族の子育てのサポートができること。	・家庭訪問や個別懇談は、定期的な機会だけではなく、必要に応じて機会を持つことができる。 ・日中一時支援事業では、ご家族に対して時間的なサポートができる。 ・福祉サービスの利用については、併設されている相談室つくしんぼの相談員に相談したり、情報提供してもらったりできる。 ・卒園児の母が職員として勤務しており、場合によってはペアレンツメンターのような役割ができる。	・児童発達支援の職員が福祉サービスに関する知識を得たり、家庭で家族が必要としている支援はどんなことなのかを知る機会を作りたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・アセスメントシートはあるが、十分に活用できていない所がある。職員は支援方法に関しての知識があるので、支援の根拠が不明確なまま支援グッズを作ったり、声掛けのみで関わったり、せっかく用意しているスケジュールやコミュニケーションカード等の使い方が曖昧になっており、結果的に園児にとってわかりづらい支援になっていることがある。	・クラスの10人の園児の対応に追われて、じっくりと一人の園児を観察してアセスメントをする時間が作りづらい。その結果、園児に対してのアセスメント不足になっている。職員が園児の実態を捉え切れていないことから、ぴったりとはまるような支援グッズが用意できず、園児の行動も落ち着かないという負のループに陥っている。	・園児の行動特性を理解するための取り組みとして、特に自閉スペクトラム症の子の特性と学習スタイルを理解するために、氷山モデルのシートを使って、行動特性と学習スタイルを整理しながら理解することに取り組んでいく。 ・毎週設定するケース相談会の場も活用する。
2	・職員の休憩時間が、十分に確保できていないこと。	・休憩時間が明示されておらず、交代で休憩を取る体制が整っていないため、また休憩スペースを確保できていないため、職員が休憩を取りづらい雰囲気がある。	・休憩時間を視覚的に明示する。 ・休憩を交代でとれる体制をつくるために、クラス職員内で話し合って決めて、交代で休憩時間を取りようとする。 ・休憩スペース（ご家族の部屋）を用意する。
3	・職員が業務に追われて支援について話し合う機会が十分に持てていないことから、職員間のコミュニケーション不足により、園児の支援に不具合が生まれている。	・職員の勤務時間がまちまちであったり（特定職B・パートナー職）、直接登園で通園バスよりも早く登園する子の支援が始まりたりすることで、療育前に職員が集まって話をする時間が難しい。 ・療育後は、片付けや掃除、翌日の活動の準備をしたり、記録を書いたり、休憩をしたりという時間のため、職員が集まって振り返りをする時間が確保しづらくなっている。	・療育前のその日の活動の打合せと、療育後の振り返りや反省の時間を作り、必ずクラス職員間で話をする時間を作る。

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果					
----	-------------------	--	--	--	--	--

事業所名	つくしんぼ学級	公表日	2025年3月21日	回収率	92.10%
利用児童数		2025年3月1日		回収数	35 / 38家族

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	おこさんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32 91.4%	3 8.6%			●教室はもう少し広くてもいいのでは?と思いますが、広すぎても落ち着かない子もいると思うので、この回答です。 ●教室に10人+先生では狭く感じました。 ●前年度がひとつクラス8人だったので…今年度は10人だったので狭いかなあと少し思ってました。	■クラス内にパーティションを設置しているので、狭く感じられることがあったと思います。クラス内の活動エリアの配置やパーティションの設置について見直しながら、おこさんにとって落ち着いて活動できる環境とスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32 91.4%			3 8.6%	●日常の様子を見ていないので、わかりません。職員の方々が適切かどうか感じていると思います。 ●新年度説明時に4人体制で手厚くとの話でしたが4人で10人より3人で8人の方が手厚く感じたのはクラスの問題でしょうか。 . . ●配置数が適切かは判断つきませんが、担当職員以外に声をかけても対応してくれたり、対応職員に伝えてくれたりと、情報共有してくれていて安心感があります。	■職員配置については、児童4人に対して職員1名という国の基準があります。より手厚く支援するために、つくしんぼ学級では基準より多くの職員を配置しています。 ■職員の人数が多ければ手厚い支援ができるということではないと感じられたご家族もおられますので、支援の質の向上を目指しながら、おこさんたちに必要な支援が提供できるように、引き続き努力していきます。
	3	生活空間は、おこさんにわかりやすい環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、おこさんの特性に応じて、バリアフリー化や棚や家具の配置を工夫して、おこさんが情報を理解し、自分の思いを伝えやすいような配慮が適切になされていると思いますか。	35 100%					■おこさんたちが分かりやすく、過ごしやすい環境設定になるよう、努力していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、おこさん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34 97.1%	1 2.9%			●建物自体は古いかなと思いますが。	■壁や床の補修が必要なところもあり、現在計画をしております。大規模な改修になりますので、次年度、もしくは再来年度に改修になるかもしれません。日々の清掃を心掛け、可能な限り修繕しながら、生活空間を整えていきます。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	5 おこさんのことを十分に理解し、おこさんの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34 97.1%	1 2.9%			●十分かはわかりませんが、概ねかと思います。 ●子どもの行動など困りごとに対して相談した際、対策を一緒に考えたり、わからないことは調べてくれたり、きちんとアドバイスがもらえて助かっています。	■引き続き、おこさんのことを理解できるように努め、ご家族の困りごとに対して、一緒に考える姿勢で対応させていただきたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 (※重要事項説明書「7.支援の概要」の部分をご参照ください。)	34 97.1%	1 2.9%				■支援プログラムについては、ご家族の皆さんによりわかりやすいようなものになるよう、次年度に向けて改訂してまいります。
	7 おこさんのことを十分理解し、おこさんとご家族のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35 100%				●とてもいい目標があり、そのおかげで成長できましたことがありました。相談員さん、ありがとうございます。	■ご家族のニーズを引き続き伺わせていくながら、おこさんの成長と発達を促せる支援計画の作成に努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「子育て支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 (※児童発達支援計画を、ご参照ください。)	35 100%					■今年度より児童発達支援計画の書式を一部見直しております。ご不明な点がありましたら、次年度以降もご質問いただければと思います。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34 97.1%			1 2.9%	●やっているのか疑問に思う事がある	■児童発達支援計画の支援目標への関わりをしながら、幼児期に体験しておきたい様々な活動を行っています。日々の支援についての説明が不足していた部分もあると思いますので、支援目標の関わりと進捗状況を、個別懇談以外にも、連絡帳等でお伝えするよう意識してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 (※「活動プログラム」は、毎月の予定表でお伝えしている事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる活動のことです。)	33 94.3%	2 5.7%				■季節感を取り入れながら、幼児期に体験しておきたい様々な活動を行っています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のおこさんと活動する機会がありますか。 (七重浜こども園のおこさんと一緒に鑑賞会を行いました。2月には、グラウンドで雪遊びも行う予定です。)	34 97.1%	1 2.9%			●同じ法人なので、もう少し交流や野外活動、もしくは備品の貸し合いなどあっても良いと思います。(特に運動会で使うテントなどは、ゆうあい幼稚園から借りられないのか、と毎年思うほど日差しがきついです。) ●幼稚園への統合保育では、園との調整や子どもへの伝え方など、工夫してくださり、安心してお願い出来ました。	■七重浜こども園とは2回交流の機会がありましたが、十分な回数とは言えません。次年度は、つくしんぼ学級のグラウンド等にこども園のおこさんにお遊びに来てもらう機会を作りながら、交流する機会を増やしていきたいと計画しております。 ■運動会のテントの借用に関しては検討しますが、運動会を行う場所が吹きっさらしのため、テントが飛ばされて危険という状況もありまして設置を見合わせておりました。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 (※入園時や新年度の療育説明会での、契約書や重要事項説明書の説明は、十分でしたか。運営規定・重要事項説明書は、ご家族の部屋において閲覧可能にしていますが、ご覧になったことはありますか。)	35 100%					■引き続き、入園時や新年度の療育説明会で、契約書や重要事項説明書の説明をします。運営規定・重要事項説明書は、ご家族の部屋において閲覧できるようにします。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 (※個別懇談でのクラス職員からの説明は十分でしたか。)	35 100%					■引き続き、個別懇談等で、児童発達支援計画について、担当職員から説明をさせていただきます。疑問点がございましたら、いつでもご質問ください。
	14	事業所では、ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 (※療育参観日での学習会やつくしんぼ丸の記事で、おこさんへの関わり方や支援の方法について紹介させていただきました。)	35 100%				●学習会は親にとって支援の手がかりになっていたり、今まで知らなかった発達障害のことをよく知る機会になっていると思います。 ●行われていましたが参観日の学習会はプリントを見るだけなら、つくしんぼ丸で十分に思いました。写真を見ながらのスタイルが良かったです。 ●父親をメインとした家族支援プログラムや勉強会もあるといいなと思います。	■今年度から坂田が担当させていただき、前任の金沢園長と内容に違いがあったと思います。昨年度のご家族からのアンケートで、おこさんの写真だけではなく、専門的な話をしてほしいとの要望があり、今年度の学習会を企画しました。次年度は両方の要素を取り入れた学習会になるよう、さらに企画を練ってまいります。 ■お父さんの会の中で、お父さん向けの学習会も企画したいと考えております。
	15	日頃からおこさんの状況をご家族と伝え合い、おこさんの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	33 94.3%	2 5.7%			●いつも丁寧に連絡帳の記入がされていて、両親共に毎日見るのが楽しみです。いつもありがとうございます。	■毎日ご家族とやり取りをする連絡帳が主な手段となりますですが、おこさんの状態について共通理解できるように努めてまいります。連絡帳等で園から伝えて欲しいことがございましたら、お伝えください。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32 91.4%	3 8.6%			●困った時はいつも対応してくれるので助かっています。	■個別懇談以外でも、困ったり悩んだりすることができましたら、いつでも職員にお声がけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32 91.4%	3 8.6%			●いつも前向きになれる言葉をかけてくださり、保護者に向けても充分な支援をしていただいている。	■ご家族の子育てを少しでもサポートできるよう努めてまいります。私たち職員も、おこさんやご家族から元気をもらったり、助けられたりしていると、日々感じております。
	18 父母友の会の活動の支援や、行事等の開催等により、ご家族同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。 また、きょうだいも参加できる行事の開催により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	33 94.3%	1 2.9%		1 2.9%	●設けられているが、参加していない。	■父母友の会の役員の皆さんには大変お世話になっております。いつも魅力的な企画をしていたいていると思います。 ■きょうだいのサポートについて、取り組んでほしいことがございましたら、お知らせいただければと思います。
	19 ご家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ご家族に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35 100%					■相談事がありましたら、家庭訪問・個別懇談の機会以外にも、連絡帳・電話・メール・手紙等の手段で、いつでも気軽にご相談ください。
	20 おこさんやご家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34 97.1%		1 2.9%		●連絡帳でその日の様子が基本わからず翌日以降に知るので、タイムリーに知りたい事もあった。	■毎年頂くご意見ですが、連絡帳の内容が一日遅れになる日があり、ご不便をおかけしております。おこさんの安全を第一に考えて、連絡帳を記入することでおこさんから目を離す時間が少なくなるよう対応しておりますので、その日のうちに連絡帳に活動内容が書けない日がありますことをご理解いただければと思います。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をご家族に対して発信されていますか。 (※つくしんぼ学級専用のホームページやSNSはまだ準備できていませんでした。ご要望がありましたらその旨も、ご意見にお書きください。)	21 60%	3 8.6%	2 5.7%	9 25.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●通信については、わざわざ印刷して配る必要があるのかなと思う所はあります。（労力、経費など）。ホームページなど、デジタル化も良いのでは。 ●SNSについては、健常者の園ではないのでなかなか難しい所もあるのかなと思います。どうしても批判的、攻撃的な書き込み等もある事ですし、活動等の記録などの紹介は良いと思いますが、自分の子供の顔は載せたくないと思ったりします。 ●他の園や療育施設で使用しているような、個人の連絡アプリを導入して頂ければ先生方も保護者側も楽なのではないかなと思います。 ●もう少しIT化しても良い気はします。出席の有無などオンラインだとお互いに楽かとは思いますが、家庭によっては直接話したほうが良い場合もあるかもしれないでの、一概には言えないです。 ●つくしんぼ専用のサイトもあると嬉しいです。 ●SNSがあることがメリットだけではないので、ない施設があつてもいいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ■IT化、デジタル化については、今後取り入れていくことになりますが、現段階では来年度からすぐにすべてをということは難しい状況です。頂いたご意見を踏まえて、連絡アプリ等の導入も含めて検討してまいります。 ■できる所からデジタル化することも検討しており、今回ご記入いただいた「児童発達支援評価表」にグーグルフォームを活用しました。8割の方がグーグルフォームでご回答いただいたので、今後も行事の出欠確認等で活用できそうであることがわかりました。しかし、全員の方がデジタル化に対応できる状況ではないと思いますので、従来通りの紙媒体によるやり取りも行いながら、デジタルとアナログのハイブリッドで、ご家族にやり取りしやすい手段を選んでいただく形で、しばらくは対応させていただきます。 ■ホームページやSNSについては、おこさんやご家族の個人情報を扱うことになります。過去にSNSでトラブルになったこともありますので、慎重になっている状況です。アナログの良さ、個人の情報が知られ過ぎない良さも残しながら、引き続き検討してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35 100%					■引き続き、個人情報の漏洩がないように気をつけてまいります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。 (※新年度説明会でお渡しした、「リスクマネジメントマニュアル」をご参照ください。)また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 (※毎月、月替わりで、火災または地震・津波の避難訓練を実施しております。つくしんぼ丸の月予定表に、実施日を記入しております。)	35 100%					■リスクマネジメントマニュアルは、毎年更新しながら、バージョンアップしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33 94.3%			2 5.7%	●実際に見ていないのでわかりません。	■避難訓練の様子も、つくしんぼ丸等で紹介する機会を持ちたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 (※新年度説明会でお渡しした、「リスクマネジメントマニュアル」をご参照ください。)	35 100%					■職員間ではヒヤリハット・事故についてクラスで話し合って出し合い、クラスからの報告をリスクマネジャーがまとめて、職員会議で周知しております。それを踏まえてリスクマネジメントマニュアルは、毎年更新しながら、バージョンアップしております。
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32 91.4%	2 5.7%		1 2.9%	●すぐにお電話頂きました。 ●緊急性のない小さな皮むけなどでも状況や対応が連絡帳に書かれていて安心できます。	■事故やけがについては、防止することがまずは優先事項となります。しかし、今年度もおこさんが怪我をすることがありました。その際は、事故やけがの状況を説明させていただき、必要な場合は通院の対応を取らせていただきました。
満足度	27	おこさんは安心感をもって通所していますか。	33 94.3%	1 2.9%		1 2.9%	●通園するのがルーティンになっており安心できる所だと感じている事が実感できます。	■おこさんにとってつくしんぼ学級が、楽しい場所、行きたくなる場所、安心できる場所になるよう、引き続き努力してまいります。
	28	おこさんは通所を楽しみにしていますか。	30 85.7%	2 5.7%		3 8.6%	●家にいるのが楽だとわかっているので、行きたがらない日もたまにあります。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33 94.3%	1 2.9%	1 2.9%		●とても手厚いです。 ●前年度と比べました。すみません。 ●先生達はみんなプロフェッショナルで素晴らしいです。とても感謝しています。	■前年度と比較して満足度が下がった方がおられるこれを職員間で共有して、日々のおこさんたちとの活動や、ご家族とのやり取りについて今年度を振り返る機会を持ちます。課題点を見出しながら、より良い改善ができるよう、職員会議等で話し合ってまいります。

チェック項目		ご意見	
		<ul style="list-style-type: none"> ●つくしんぼに通つてから、たくさん成長できて、できることも増えて、ほんとに通えてよかったです。 ●つくしんぼへ通所することを子ども自身楽しんでますし、すごく成長もしています。つくしんぼと先生方のおかげです。いつもありがとうございます。 ●職員の方々には本当に感謝しかありません。日々子供の成長を感じていますありがとうございます。 ●先生方いつもありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。先生方のおかげで安心して生活することができます。 ●いつも感謝しかありません、ありがとうございます。つくしんぼ学級に入園してほんとうに良かったです。 ●子供がどんなことに困っているか、先生方がいつも手を差し伸べてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。発達に悩んでいる親御さんや、つくしんぼに入れず待機されているおこさんも数多くいると耳にします。どうか、先生方が少しでも働きやすい環境になるよう、もっともっと国が動いてくれたらいいなと思います。 ●つくしんぼに通い、この2年間で親子共にたくさん成長出来たと感じています。「こんなこと聞いていいのかな?」と思っても、先生方は「どんなことでもおっしゃってくださいね」といつも笑顔で返答してください、安心して相談出来ました。園生活以外でも困って相談した際には子どもに合わせたスケジュールを用意してくれて、個々の対応にも感謝です。 ●最初、紙の連絡帳面倒くさいなと思っていたがとても楽しいので紙は紙の良さがあるのだなと思っています。 	
30	その他、気になること、改善してほしいこと、ご意見、ご感想がありましたら、自由にお書きください。	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		<ul style="list-style-type: none"> ●欠席、遅刻の連絡などだけでも、アプリで連絡できるようになると良いなと思いました。 ●来年は年長になるので、情緒面やコミュニケーション能力や学習面を小学校に向けて、本人の出来るところを伸ばしていくたら嬉しいです。1番の不安は、大人が介入しない時の同じ年の子とのコミュニケーションや人間関係についてです。(例えば遊ぶ約束をしてもどこで遊ぶかなどがわからないとか、グループのなかで頼まれた役割がわからないとか。) そういうった部分がやはり心配なので、小学校は支援級を今は考えています。少しでもコミュニケーションがスムーズになる、自分の意見がいえるように、同じ年の子や他の園の中に混ざって活動する機会を出来るだけ多く与えていただけたらと思います。宜しくお願ひ致します。 	<p>■IT化、デジタル化については、今後取り入れていくことになりますが、現段階では来年度からすぐにはということは難しい状況です。頂いたご意見を踏まえて、連絡アプリ等の導入も含めて検討してまいります。</p> <p>■インクルーシブ教育の推進のためにも、幼稚園やこども園のおこさんとの交流の機会は増やしていきたいと思います。次年度幼稚園への転園を検討しているおこさんがいらっしゃれば、統合保育の機会も持っていくこともおこさんの様子に合わせて、検討していきます。職員体制の課題もあり、統合保育の機会が限られることも現状ではあります。ご家族がお仕事をされているのであれば、保育園やこども園との併行通園も積極的に進めなければと考えておりますので、ご相談ください。</p>

公表		事業所における自己評価結果					
事業所名	つくしんば学級				公表日	2025年3月19日	
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20 69%	3 10.3%	6 20.7%	●個々に応じてパーテーションや個室を活用 ●どのクラスも工夫してスペースを利用して いると思う。 ●分散して見れるように工夫した。	<ul style="list-style-type: none"> ●人数的には適切なのかもしれないが、子ども同士の相性の関係で一緒に過ごせない、別の空間が欲しい、などがあるのでもう少し広いもっと過ごしやすい。 ●クラスの構造に対して1クラスの子どもの人数が10名が多いと思います。 ■利用児の人数が毎日違うため、個別対応する部屋が足りない。 	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11 37.9%	12 41.4%	6 20.7%	●フリー職員がフォローしている。	<ul style="list-style-type: none"> ●人員が不足だと感じることがある。 ●数字だけ見ると適切だとは思うのかもしれないが、子どものタイプに対して、支援のスキルが足りないととてもクラスを運営していく中で厳しさを感じる部分が正直ある。 ●1対1での関わりが必要なお子さんが多いので、職員が増えると、より丁寧に関わることが出来ると思う。 ●子供の特性に合わせた療育をする上では足りない。職員が休みをとると、-1になることも少なくない。安全に見ることで精一杯になっていることが多い。 ●人数は配置数に達していると思うが、業務数が多く休憩がとれないことを考えると足りていないと思う。 ●職員の配置数は足りているとは思えない。皆疲弊している。 ●職員数がもう少し多いとより手厚く関わることができる。 ●個別の対応が必要なお子さんがいるクラスは10名に対して職員の人数が4名では配置不足だと思います。 ●フリー職員をもつといろんなクラスに行ってもらい、助言をもらったり、個別に関わりたいことだったりをする時に入ってくれるのはどうでしょうか。 ■利用児の多さで、日中の療育に関わっている職員の応援を頼むことが多い。 	

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や棚や家具の配置を工夫して、こどもが情報を理解し、自分の思いを伝えやすいような配慮が適切になされているか。	22 75.9%	1 3.4%	6 20.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●各クラス、よく考えて構造化されていると思います。 ●クラスの子の様子に合わせてパーティションの数を調整したり各部屋のコンセプトを見直したりできているクラスはより子どもにとってわかりやすい環境となっていると感じる。 ●職員が日々子供達の様子に合わせて構造化を見直しながら、努力していると思います。 ●職員はクラスのお子さんに合わせた環境になるよう、努力している。 ●今ある材料で棚をつくりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●室内の遊びのスペースの使い方については、子どもたちの姿が見やすいように支援方法も含めてさらに検討していきたい。 ●子どもの成長に合わせて、見直されると、より質の高い療育ができるのではないかと思います。 ●各クラスで差が見られている。 ●全員にとは難しいところはありますが、少しでも全員わかる構造化を目指せたらと思います。 ■ほぼ構造化されていないので、個々への配慮が足りない。おもちゃの取り合いなどのトラブルがある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24 82.8%	3 10.3%	2 6.9%	<ul style="list-style-type: none"> ●清掃は職員が丁寧にしている。 ●毎日療育後に掃除している。 ●ほぼ毎日玄関の掃除しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●壁や床の補修が必要である。 ●破損箇所が多く見られ、見た目が、清潔には感じられない。 ●老朽化している部分が多々あると思います。 ●古いから仕方ないのかもしれないが、壁や床が汚い。掃除だけでは、限界があるように感じる。 ●衛生面はもう少し職員の学びが必要だと思う。 ●掃除の分担を工夫すると良いと思う。 ■おもちゃ等の消毒が足りない。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	25 86.2%	2 6.9%	2 6.9%	<ul style="list-style-type: none"> ●職員が、子どもたち一人一人に必要なスペースを検討し、用意しようとしている。 ●各クラスに小部屋があります。 ●個別の課題や少人数での活動の際には個室を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■個別の部屋が少ない。本園のホールや部屋を利用している。
	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17 58.6%	3 10.3%	9 31%	<ul style="list-style-type: none"> ●クラス反省の機会を設けている。 ●年度の目標を設定し、定期的に管理職と面談している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員から意見は聞いているが、まだ十分に改善されているとは言えない状況で、引き続き改善策の検討と実施が必要である。 ●業務が重なり、振り返ることが難しいこともあったと思う。業務の分担やシステムを見直していきたい。 ●振り返りシートへの要望は、受け入れられないことが多い。 ●児童発達管理責任者がクラスの話し合いに参加して話し合う機会をもってくれたことはよかったと思うが、話し合っていないクラスがある。または話し合ったことが実行されずに、目標の関わりをやっていなかつたということがある。

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	7 ご家族向け評価表により、ご家族の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22 75.9%	1 3.4%	6 20.7%	●年度末にアンケートの集計で把握している。 ●ご家族からの評価と意見をもとに、次年度に向けて改善していきたい。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17 58.6%	4 13.8%	8 27.6%		●職員の意見を聞いているが、十分に応えられているとは言えない状況であり、改善が必要である。 ●意見を聞いても、すぐに反映することが難しいこともあったと思う。特に、新しい取り組みの場合は、なるべく具体的に示す必要がある。時間も労力もかかると思うが、業務改善のために前向きに捉えていきたい。 ●意見等を把握する機会を設けているのにも関わらずそこから行動して変えていこうとする意識が見られないと感じることが多々ありました。 ●今年度のぶどう組の要望に関して、業務の負担軽減の工夫があると良かったと思う。 ●意見を把握する機会は作ってくれていると思うが、改善までにはいってないことが多いかなと思います。 ●意見は聞いてくれるが、改善することは難しい様子。 ●機会はあるが、意見を言っても改善に繋がっているとは思えない。 ●話しさ聞いてもらっているが、特にそこから何も変わらない。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 (※今年度は第三者の有識者に外部評価を行つてもらう予定です。)	13 44.8%	4 13.8%	12 41.4%	●アドバイザーの意見を踏まえて、次年度に繋げていきたい。	●今年度の評価を来年度に活かせるようにする。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	26 89.7%	1 3.4%	2 6.9%	●参加できる研修には、職員に声を掛けて参加する機会を作っている。 ●研修に参加する機会はほとんどないが、報告書等をもらっている。 ●研修があり、職員が参加出来ている。	●つくしんぼ内で基礎レベルで再度支援について振り返る、学び直す機会を設けても良いのではと感じます。 ●もっといろんな職員に研修を受けてもらい、学習会で発表する機会をたくさん作っても良いと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 （※重要事項説明書「7.支援の概要」の部分を参照）	25 86.2%		4 13.8%		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもとご家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	23 79.3%		6 20.7%	●支援の方向性をクラス職員、児童発達支援管理責任者で話し合い、決めている。	●アセスメントはしているが、行動特性や学習スタイルのアセスメントの方法については、検討していきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22 75.9%		7 24.1%	●担当者会議を行い、児童発達支援管理責任者を中心に、クラス職員との検討の場が設けられている。 ●今年は定期的に支援計画について進捗等、話し合う機会が多くあり、良いと思いました。 ●自分のクラスは共通理解に努めました。	●クラス、児発管だけではなく、園全体として支援を見直す話し合いの場を設けられると、よりよい支援に繋がると思う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21 72.4%	2 6.9%	6 20.7%	●担当ではなく、クラス全員で取り組めて良かった。	●支援計画についての、話し合いの機会はもっと作ってもよいかもしれない。 ●クラスを見ていて、支援計画を作成しても、目標に全く取りかからない、職員間で共有しようとする意識が薄いと感じることもあります。 ●職員間のコミュニケーションがうまくとれていない場合がある。 ●他クラスの子の支援内容の把握は不十分だった。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20 69%	2 6.9%	7 24.1%	●氷山モデルを使って考える機会が勉強になったと思う。次年度も継続していきたい。	●不十分でした。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22 75.9%		7 24.1%	●それぞれの項目が設定され、個別性に応じた内容となっている。	

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提 示	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。 (※「活動プログラム」は、毎月の予定表でお伝えしている事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる活動のこと)	23 79.3%	1 3.4%	5 17.2%		
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22 75.9%		7 24.1%	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日同じ活動にならないように、様々な活動に取り組む機会を持っている。 ●今後もこどもの育ち、興味関心に合わせた設定活動を提供していきたい。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	24 82.8%		5 17.2%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	19 65.5%	4 13.8%	6 20.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●重要事項がある場合のみ行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日頃打ち合わせは行っているが、打ち合わせをせずに療育を開始した日には、こどもたちを待たせたり、勘違いさせたりすることがあった。見直していきたい。 ●打合せが持たれていないクラスもあるようである。 ●一部だとは思います。 ●必要なすべての情報について全職員に共有されていない場合がある。 ●クラスによってはできていない日もあるのかもしれません。 ●やっていないクラスもあるのではないかと思う。 ■時間は十分ではないが、その日のメンバーを見て支援内容等を話し合っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22 75.9%	4 13.8%	3 10.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の勤務時間で時間が確保されなかったことも多かったが、共有できるように行動記録に書くようにしたりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●関わり方を見直す時に、クラスのみで考えることに難しさを感じたこともあった。打ち合わせ等で、他クラスの職員の意見を聞く機会を作っていきたい。 ●打合せが持たれていないクラスもあるようである。 ●一部だとは思います。 ●その場にいない職員に伝え忘れがあり、共有できない部分もあった。 ●反省が行われなかつたり情報が共有されない場合がある。 ■終了時ギリギリまで利用することが多いため、十分な反省はできていないことが多い。

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	23 79.3%	2 6.9%	4 13.8%		<ul style="list-style-type: none"> ●記録されていないこと、また記録が支援に活用されていないと感じたこともあった。あらためて、記録することの意味を考えていきたい。 ●記録の取り方、支援の検証、改善に繋げられるよう、どういう視点が必要なのか、どういう記録を取っていったらいいのか、再度確認やその技術を学び直す機会があつても良いのではと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18 62.1%	2 6.9%	9 31%		<ul style="list-style-type: none"> ●月に一回、児発管と話し合う機会を持ったが、できることもあった。今後も定期的に見直す機会を持ちたい。 ●児童発達支援管理責任者に定期的に入つてもらって目標の進捗を確認できたのは良かった。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24 82.8%		5 17.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●サービス担当者会議が開かれる機会が少ないが、相談支援事業所とは情報共有をしている。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 (※連携会議や情報共有、引き継ぎ等)	26 89.7%		3 10.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●ゆうあい会石川診療所のセラピストとは、連携会議の機会を持っている。 ●怪我した児童を病院に連れて行きました。 ●管理職が行っていると思います。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (※併行通園児との連携会議や情報共有)	25 86.2%		4 13.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●併行通園先とは、連携会議を行ったり、必要に応じて情報交換をしたりしている。 ●管理職が行っていると思います。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (※引き継ぎ等)	26 89.7%		3 10.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校や特別支援学校と連絡を取り、1回以上は引き継ぎを行っている。 ●子どもの特性と支援をお伝えし、分かりやすく資料にまとめて、使用しているグッズとともに渡ししている。 	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 (※児童発達支援事業所連絡会に、園長・児童発達支援管理責任者等が参加している。)	25 86.2%		4 13.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●児童発達支援事業所連絡会に、園長・児童発達支援管理責任者等が参加している。 ●管理職が参加していると思います。 	

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 (※セラピストとの連携会議・諭訪先生のコンサルテーションを受けている。)	26 89.7%		3 10.3%	●セラピストとの連携会議・諭訪先生のコンサルテーションを受けている。 ●定期的にコンサルテーションを受けています。	●管理職が可能な限りでいいので、各クラスの様子を把握し、良い点や改善が必要な点等、もっとオープンに意見が共有できたら良いのかなと思うこともあります。
	30 自立支援協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 (※金沢園長が参加している。)	23 79.3%	1 3.4%	5 17.2%	●金沢園長が参加しています。	
	31 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 (※七重浜こども園との鑑賞会や雪遊び)	27 93.1%		2 6.9%	●七重浜こども園との発表会を行っている。 ●七重浜こども園とは鑑賞会や雪遊びで、ゆうあい幼稚園へは統合保育に参加する園児もいます。	●もっと機会を増やしても良いと考えている。次年度は、七重浜こども園や浜分こども園とも交流の機会を持ちたいと考えている。 ●次年度は、地域のこども園等との交流の機会を増やしたい。 ●もう少しだたくさんあっても良いのでは、と思います。
	32 日頃から子どもの状況をご家族と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	26 89.7%		3 10.3%	●連絡帳が主となるが、必要に応じて電話や手紙、メールでお知らせすることもある。 ●毎日連絡帳で伝え合っています。 ●協力的なご家族が多く一緒に進めていく事ができた。	●セラピー等、他機関で行われていることについても、電話やご家族との話し合いの場から情報を共有していきたい。 ■お迎え時、必ず保護者と会えるため、その日の様子を伝えている。
	33 ご家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 (※療育参観日での学習会やつくしんぼ丸の記事で、おこさんへの関わり方や支援の方法について紹介している。)	25 86.2%	1 3.4%	3 10.3%	●療育参観日での学習会やつくしんぼ丸の記事で、おこさんへの関わり方や支援の方法について紹介している。	

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 (※入園時や新年度の療育説明会での、契約書や重要事項説明書の説明をしている。運営規定・重要事項説明書は、ご家族の部屋において閲覧可能にしている。)	25 86.2%		4 13.8%	●入園時や新年度の療育説明会での、契約書や重要事項説明書の説明をしている。運営規定・重要事項説明書は、ご家族の部屋に置いて閲覧可能にしている。	
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもやご家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23 79.3%	1 3.4%	5 17.2%	●計画作成の段階で、こどもの意向を聞くことは実際には難しいが、支援や活動を進めながら、こどものニーズに合っているかを検討している。ご家族の意向は、個別懇談や書面で確認している。 ●懇談でお話ししています。	
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	25 86.2%		4 13.8%	●個別懇談等で職員から説明し、同意を得ている。 ●一つ一つ説明し、同意を得ています。	
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	25 86.2%		4 13.8%	●ご家族側のニーズの違いにより頻度に偏りはあるが、必要なサポートができるよう心掛けている。 ●定期的にある懇談の場でお話ししたり、毎日の連絡帳でも都度行っています。	●相談されるが、話を聞くだけで、助けてあげられず、無力さを感じた。 ●ご家族からの子育ての悩み等に必要な助言をするために、ご家族の思い知る機会を設けてもよいと思います。
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 (※きょうだいが行事に参加する機会を作っている。また、ご家族からきょうだいの相談を受けたりしているか。)	22 75.9%		7 24.1%		●きょうだいが行事に参加する機会はあるが、きょうだい同士での交流には至っていないと思います。 ●ご家族からの子育ての悩み等に必要な助言をするために、ご家族の思い知る機会を設けてもよいと思います。
	39	こどもやご家族からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもやご家族に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24 82.8%		5 17.2%		

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもやご家族に対して発信しているか。 (※つくしんぼ学級専用のホームページやSNSはまだ準備できていませんでした。)	9 31%	11 37.9%	9 31%	●ホームページでは、事業所の自己評価・保護者評価の結果と支援プログラムを、年度末までに公表する予定である。 ●つくしんぼ丸の発行、行事のお便り等で、詳しく説明されていると思う。	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25 86.2%	1 3.4%	3 10.3%	●自分のスケジュール以外は持ち出しません。	●職員室の机の上に個人情報が見える状態で置いてあるのを見かけることがある。
	42	障がいのあるこどもやご家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	26 89.7%		3 10.3%	●聞かれれば答える事はあります。	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 (※卒・在園児合同行事・土曜日の園開放では、地域で生活する卒園児を招いている。)	24 82.8%	1 3.4%	4 13.8%	●行事の内容や幼児の活動の場ということで、広く一般の地域住民を招く機会を作ることは難しいが、卒・在園児合同行事・土曜日の園開放では、地域で生活する卒園児を招いている。	
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	28 96.6%		1 3.4%	●今年度から作成したものもあるが、各マニュアルについては年度末に見直して、次年度に向けて改善するようにしている。 ●月に一度避難訓練をしている ●Jアラートや不審者、ブラックアウトの避難訓練もあると良いと思う。	●ご家族に周知しているかは把握していません。 ●感染症の対応をもう少し徹底したほうがいいと思う。 ■十分とは言えない。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 (※新年度の会議で配布)	28 96.6%		1 3.4%	●災害に関する避難訓練は毎月行っている。 ●消防士の方に教えて頂きました。 ●定期的に避難訓練を行っている。	■十分とは言えない。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 (※新入園児の面談時にご家族に提出してもらい、年度替わりには健康に関するアンケートの提出を求めている。)	28 96.6%		1 3.4%		

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 (※新入園児の面談時にご家族に提出してもらい、年度替わりには健康に関するアンケートの提出を求めている。)	25 86.2%	3 10.3%	1 3.4%		<ul style="list-style-type: none"> ●ご家族に確認は取っているが、医師の指示書の提出をこれまで求めていなかった。今後は、医師の指示書の提出について検討していく。 ●細かな食べたことがある又はないチェックリストなど、体制を整えた方が良いと思う。 ●アレルギー対応はしているが、医師の指示書はなく、保護者の申し出による。
	48 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 (※リスクマネジメントマニュアルがその役割を果たしている。)	28 96.6%		1 3.4%		<ul style="list-style-type: none"> ●バスに残されるという事故が起らぬよう、バス添乗者のマニュアルがあると良いと思う。
	49 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 (※新年度の療育説明会でリスクマネジメントマニュアルを配布している。)	27 93.1%		2 6.9%	<ul style="list-style-type: none"> ●新年度の療育説明会でリスクマネジメントマニュアルを配布している。 	
	50 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	28 96.6%		1 3.4%	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日のクラスの振り返りでヒヤリハットについて確認し、リスクマネジャーが毎月まとめて職員会議で報告している。 ●毎月話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●再発防止に向けた対策を考えていたが、同じような事故が繰り返されたこともあった。今一度、何ができるか、振り返る機会を持ちたい。 ●今年は事故報告が多かったのかなと感じます。 ■十分とは言えない。日中療育担当との連絡を密にした方が良い。
	51 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	26 89.7%	1 3.4%	2 6.9%	<ul style="list-style-type: none"> ●虐待に関する研修を受けた職員から、学習会で報告している。 ●報告書で理解につとめている。 ●研修を受けた職員が、職員全体に報告する機会が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●研修だけで適切に対応しているとは言えないと思います。
	52 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもやご家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 (※今年度の最後にご家族に渡す児童発達支援計画にこれから載せる。)	20 69%	1 3.4%	8 27.6%	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も、こどもたちの行動やその背景にある思い等について、ご家族への説明を行った上で、一緒に検討し、対応していきたい。 	

チェック項目		課題や改善すべき点
53	その他、気になること、改善してほしいこと、ご意見、ご感想がありましたら、自由にお書きください。	<ul style="list-style-type: none"> ●自分も含めてですが、支援の質向上に向けて基礎から振り返る機会を設けても良いのではと感じます。 ●自クラスではできていると思っていても、各クラス・園全体で考えた場合はできていないものが多いと感じます。職員の事情を挟んだ支援が多いと感じたり、子供ファーストで考えると対応について疑問に思うところはあります。ですが現在の職員体制では事情を挟まざる得ない状態だということも理解できますし仕方のないことなのかなと…。子供を一番に考えた支援を優先すべきなのか、職員の事情を考慮した支援も必要なのか、とても難しいと感じます。 <p>■利用する人数が多い。利用する部屋のスペースや職員の人数を増やしても、個別対応するお子さんも多く難しいと思う。担当職員は、日々努力しているが、もう少し管理職が中に入り、色々なアドバイスが欲しい。</p>

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日 ~ 2025年 3月 4日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	28名 (ただし、利用期間が短い方6名と1組双子のご利用があり、配布は21通)	(回答者数)	16名	
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日 ~ 2025年 3月 9日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	4名	(回答者数)	4名	
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 17日 ~ 2025年 3月 4日			
○訪問先施設評価有効回答数 (対象数)	18箇所	(回答数)	16箇所	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 9日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が、経験年数が高く、さらにこども発達支援センターの業務を兼務していることで、訪問先と連携がしやすいこと。	顔見知りの保育士さんが多く、コミュニケーションが取りやすいので、先生方が悩まれていること等をなるべく話しやすい雰囲気作りをしている。	発達支援コーディネーター連絡会等を通じて、地域の保育士さん同士の横の繋がりも深めていき、この地域の支援体制の底上げの為に、力を尽くしていくたい。
2	児童発達支援センターに併設されていることで、玩具、教材教具のストックがあり、利用されるお子さんに合わせた物が利用しやすいこと。	それぞれの利用児のアセスメント結果から、目標を立てて、その目標達成のためのツールを、センターにある教材等から借りて行っている。必要に応じて、新たに作成する場合もある。	月1回と頻度が低いので、必要があれば訪問先に貸し出したり、先生方が同じような物を作成しやすいよう、情報提供を工夫していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望が多く、ニーズに充分に応えられないこと。訪問回数も月1回になっている。	訪問支援員の不足。	訪問支援員の増員は理想だが、地域にある事業所にも、もっと積極的に保育所等訪問支援事業を行っていただけるよう、働きかけて行きたい。
2	小学生の利用も増えており、訪問支援員の力量が足りないこと。	幼児期から見ていることで、特に保護者が希望するケースが多い。また、最近は、学校からSOSが来るケースも出てきている。 セルフプランのお子さんがほとんどで、支援者を繋ぐ人が不足している。	どの時点で、学校の先生方や放デイの職員にバトンタッチしていったら良いのか、またどのような形で引き継ぐと保護者もお子さん自身も、そして先生方も安心なのかを検討していく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	つくしんば学級	公表日	年 月 日				
利用児童数 28名 (配布数21部)			回収数 17/21 (81%)				
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	41%	12%		47%	・教材教具は、先生が用意していただいた物でしょうか？ボタンの練習などのことですか？	お子さんによっては、言葉かけによる支援等で、教具教材を使用しない場合もあります。質問の方は、ボタンや裏返し直しの教材、計算のための補助ボード等を使用いたしました。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	82%	6%		12%	・面接室のイメージがないのですみません。	保護者の方と個別にお話しをする場合、家庭訪問や訪問先の一室をお借りすることが多いです。木古内町では保健センターをお借りしていました。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					
適切な支援の提供	5 子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%					
	6 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				小さい頃から支援を受けており、特性に応じたきめ細かな対応を受けております	利用されている方の中には、何年も継続されている方もいて、成長の様子を知ることが出来嬉しく感じています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				子どもだけでなく我々保護者にも寄り添った丁寧な対応に感謝しております	今後も相談し易い関係作りを心掛けてまいります。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	76%	6%	6%	12%		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	82%	6%		12%		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%					
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	47%	12%	12%	29%		
	15 必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94%	6%				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	88%			12%		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	94%			6%		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	76%		6%	18%		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%			6%		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるよう正在していると思いますか。	71%			29%		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	76%			24%		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%				・子どもは信頼できる先生に会えるのを楽しみにしています。	これからも利用されるお子さんや保護者の方に、利用して良かったと感じていただけるような支援を目指してまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	94%	6%			・これからも可能な限り先生の支援を受けられたらと思っています ・とても満足しております。日々ありがとうございます。	

公表		訪問先施設からの事業所評価の集計結果			
事業所名	公表日			年月日	
つくしんぼ学校	利用児童数			28名 2025年 3月 4日 回収数 16 / 18	
チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	88%	12%		<ul style="list-style-type: none"> 「個」の課題や集団で過ごすにあたっての課題や取り組みなどの助言を頂き、とてもわかりやすく、園でも取り組みやすいことを提示してくださっています。 ・カンファレンス後、全職員で共有し担任は保育の中に取り入れています。必要に応じて次年度職員にも伝え、対象児へ同様の対応が出来るようにしています。 ・対象児が集団生活を楽しく過ごすことが出来るよう、実際の保育と対象児の姿を見て頂いて、その場面の適切なアドバイスを頂けるので、ありがとうございます。 ・関わりに悩みながら子どもに向かい大きな集団の中でもできる限りの個別支援は行はっていますが、躊躇ことが多いです。訪問された時に先生がいつも職員の対応について肯定的に受け止め共感してくださるので前向きな気持ちを取り戻すことが出来ます。 ・園児の様子を見たうえで、対応した内容や園児との関わりの様子を書面でも知らせていただいているので、日頃の保育に生かすことができています。 ・利用児の気持ちに寄り添った助言等をしてくださり、自分の気付きへと繋がっております。 ・すごく難しいことはなく、少しの工夫や見方を変えるなどという事を学びました。 ・なぜ今その支援が必要なのか、お子さんの発達段階や特性を踏まえて説明をしてくださることによって、腑に落ち、学びを深めることができます。また、いつも直ぐにできそうなことを提案してくださっているので、大きな負担を感じることなく実践することができています。 ・イラストカードを使用する際、具体的な場面や有効的な働きかけの助言もあるので取り入れやすいです。 	多くの園や学校の先生方から、助言や説明が具体的で取り入れやすいとのご意見を頂きありがとうございます。その中でも2箇所の訪問先の先生から、「どちらともいえない」との評価を頂きました。まだまだ不十分な点があると捉え、先生方に納得していただけて、日々の保育、教育に役立つような説明を心掛けてまいります。
2 訪問支援員の支援に対する知識、技術等に満足していますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子や成長に合わせ、「個」の能力を伸ばす課題などにも取り組んでいて、支援記録などからも学ばせて頂いています。 ・支援児への対応も大変満足しています。 ・一つ一つの言葉に「なるほどなあ」と改めて気付かされることがあり、学びが多い時間を過ごさせてもらっています。 ・大変満足しております。 ・園児にあった支援や対応を行っていただいているので、こちらも関わりの中で参考にさせていただいている。 ・利用児の気持ちに寄り添った助言等をしてくださり、自分の気付きへと繋がっております。 ・園児の様子に「どうしてだろう」と悩んだ時に、適切なアドバイスをしてくださいました。 ・本人支援の知識や技術だけではなく、地域のリリースについてもたくさんのお情報や知識を持っていらっしゃるので、家族支援の相談に乗っていただたり、市内の学校や事業所の現状を知ることができ、ありがとうございます。 	大変良い評価をありがとうございます。今後も、訪問支援員としての知識・技術を学ぶことと、常に新しい情報に触れていたいと思っております。
3 訪問支援員は質問に対し、適時・適切に回答してくれていますか。	94%	6%		<ul style="list-style-type: none"> 質問した際にはその場ですぐに答えてくださり、子どもの特性や成長などに合わせての助言などもくださり、丁寧に対応してくださっています。 ・質問・相談には的確な回答・アドバイスを頂いています。 ・端的に分かりやすく、現場ですぐに対応できるような回答を頂いています。 ・毎回丁寧に回答頂いております。 ・こちらからの質問にわざりやすく丁寧に答えていただき、園児との関わりの中で生かすことができています。 ・いつも親身になって聞いてくださり、解決する糸口となる助言をしてくださいます。 ・職員からの質問等でいつもお忙が迷惑になっていた思います。すみません。 ・提案してくださった支援が上手くいかなくて質問をした時に、どこがダメだったのか、なぜお子さんがそのような行動をしたのか、どうしたら良いのかを納得が行くように説明をしてくださり、支援を立て直すことができました。 ・保育での迷いや困りごとを伝えると毎回具体的な支援の方法を教えていただいている。 	多くの訪問先の皆様から、良い評価をいただきました。まだ足りていない部分があることも、伝わりました。皆様からのご質問が、私たちを育ててくださっていると感じております。これからもたくさんご質問を頂き、共に考えさせていただきたいと思っております。
4 保育所等訪問支援を利用したこと、誰や困りごとが解消または軽減されましたか。	88%	12%		<ul style="list-style-type: none"> 支援を受けていることで、支援児の母親ともスムーズに話が通るようになりました。課題・困り事が一つ一つクリアしたり、軽減していく様子も保護者と共にでき、保護者との信頼関係も深まりました。 ・対象児の接し方や行事への取り組み方など、ケース会議の中で話を聞いてもらうことで、保育者も自信を持って保育することが出来ています。 ・園児にあった対応の仕方に悩む場面もありましたが、訪問支援を利用したことで、相談させていただくことができています。 ・視覚的援助を取り入れたことで、興味をもって活動に向かうことができています。・その子によって解消に近づいているケースと若干軽減されつつあるケースに分かれています。 ・園児のことだけではなく、保護者や家族への支援や関わりについても情報を共有し、関わることができます。 ・自身にとっては初めて出会いタイプのお子さんで支援の経験がなかったことと、発達がゆっくりなため課題が沢山ありすぎて、何を目標にしたらよいのかわからなくなってしまったが、訪問支援で助言をいただいたり、相談に乗っていただくことによって不安が解消されたり、支援の方向性を確認することができます。 ・保護者の隠し事情の情報を共有してくださるので、家庭との連携もスムーズに行なうことが出来ています。 	ご意見は好評なものばかりでしたが、訪問することであまり困り事が解決されていないと感じておられる訪問先が2件ありました。訪問支援員の力不足で、先生の方の力になれない所があるのだと思います。今後も努力してまいります。
5 事業所からの支援に満足していますか。	94%	6%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から坂田先生にも相談もしていると聞いています。保護者と坂田先生との信頼関係も築かれていると感じています。また、保護者の方も満足していることが伝わってきます。 ・(はい)いつもありがとうございます。 ・大変満足しております。 ・とても満足しております。今後ともご指導よろしくお願い致します。 ・遊びの時間は密にかかり、保育活動時は近くで見守っていただいているので、利用児の笑顔がたくさん見られております。 ・満足しています！ ・どの支援員の方とも豊富な知識と質の高い人間性を兼ねそなえておられるのでとても満足しています。 ・保護者の関わりを丁寧に聞いて労ってくださるので安心して保育を行うことが出来ます。 	満足を感じただけないのは、どのような部分なのか情報を頂きながら、全訪問先に満足していただけるよう、訪問支援員一同新年度から頑張ります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応
<ul style="list-style-type: none"> いつもありがとうございます。いつも分かりやすい助言をして頂き、日ごろの子どもたちへの接し方に、取り入れさせて頂いています。今後もよろしくお願ひいたします。 ・長い時間の経過とともに、お互いに立場は大きく変わりましたが坂田園長先生とまた、一緒に仕事が出来ることを嬉しく思っています。実際に訪問支援を受けていないお子さんのことも話を聞いてもらっていることがあります。この訪問支援の良さを若い保育士にも引き継いでいきたいと思っています。これからもよろしくお願ひいたします。 ・支援をまだ受けていない、気になる子への相談にも乗ってくださるので、その後の支援に繋げやすいです。今後ともよろしくお願ひいたします。 ・対象園児以外の園児やそのご家族との関わりについても相談しやすいです。いつもありがとうございます。 ・保育所等訪問支援を利用したい場合、申し込みの仕方は分かっているのですが、翌年年度始めから新しく利用したい場合、最終申込日はいつになるのでしょうか。今後利用したいご家庭があつたときのために、教えていただきたいです。 ・支援の仕方を参考にさせていただいたことで、心に余裕をもって保育することができました。また、訪問時に不安になることや気になることなどを相談させていただき、支えてもらいました。 ・いつも利用児に優しく寄り添ってくださり、利用児も嬉しそうにかかわる姿が見られておりました。また、些細な質問や疑問にも丁寧に答えてくださり、私共の気付きにも繋がっております。今後もいただいた助言等を元に利用児が安心して園生活を過ごすことができるようすすめていきたいと思います。そして、利用児の困り感に少しでもより良い援助ができるよう、今後共お力添えをよろしくお願い申し上げます。 ・いつもお世話になっております。今年度、訪問支援にきていただき、ありがとうございました。園児の特性や発達、性格などに応じて、集団に入ったり、個別の活動をしたりと、園児の気持ちを大切に関わってくださっていると感じました。園児の支援ということだけではなく、職員からの質問等にも丁寧にお答えいただき、日頃の園生活にも生かすことができています。他の施設からの訪問支援も受けていますが、職員に寄り添ってくださり、一緒に課題解決に向かっていくことができ。心強いです。また、何かの機会にきていただきたいと願っています。 ・お子さんの支援に対してだけでなく、保育士側のささいな支援工夫や対応についても気付いて褒めて下さることに勇気づけられます。正解がない支援や保育の中で、思い悩んだり失敗することもありますが、著名な金沢先生が認めて下さることで心暖かく軽くなります。金沢先生はわたしの心の安定剤です。 ・いつも学校へのご支援を頂き誠にありがとうございます。 ・専門的な知見はいつもありがたく、参考にさせて頂いています。学校の現状（人員・場所）似合わせた、具体的な事例を紹介して頂けると、助かります。（他校、支援学校の事例など） 					<ul style="list-style-type: none"> ・もちろん保育所等訪問支援時は、担当のお子さんのために伺っているのですが、訪問支援員が、こども発達支援センターの業務を兼ねているので、他のお子さんやご家族のことに関して、ご相談にのりやすい環境になっているのだと思います。今後も、遠慮なくご相談いただけると嬉しいです。 ・保育所等訪問支援は、随時受け付けているので、申し込みの締め切り等はございません。ただし、限られた人数で対応していることもあります。全ての方をお受けすることは出来ません。そのお子さんに保育所等訪問支援が合っていると判断されても、人数の関係でお引き受け出来かねる場合、他の事業所の保育所等訪問支援をご紹介する場合もあるかもしれません。 ・訪問支援員が、ずっと幼児の支援に関わってきており、学校教育にや特別支援教育に関する知識不足があるかと思います。学校からの依頼も増えてきているので、訪問支援員自身の資質の向上を図ることはもちろんですが、今後の検討課題となると感じています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つくしんば学級				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境制・整運備営・	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%			なるべく一人一人に合わせて持って行くよう にしている。スマールステップで難易度を変 えている。		
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%		他の業務の兼務で保育所等訪問支援を行って いるので利用ニーズに応えるとなると、訪問 支援員の補充が必要である。		
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	75%	25%		保育所等訪問支援の業務改善のための話し合 いを持つ事が出来ておらず、今後必要である。		
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			今年度から初めて評価表記入していただき、 スタッフで検討する機会や、アドバイザーの 意見を頂く機会が持てた。		
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	100%					
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	100%			今年度より、第3者の方にアドバイザーをお 願いできることになった。		
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	100%					
	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成して いるか。	100%					
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の 利益を考慮した検討が行われているか。	100%			訪問先の保育所の先生の意見を取り入れなが ら目標を設定している。		
適切な支援の提供	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%			訪問先の保育所の先生の意見を取り入れなが ら目標を設定している。		
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%			児童発達支援管理責任者と共有している。		
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			インフォーマルなアセスメントが主である。		
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	100%					
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。				11の再掲		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	75%	25%		一人で訪問しているので役割分担はない。 訪問先の先生からは、活動内容について説明 を受けている。		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			保育所(訪問支援先)の先生とは、情報共有 をしている。		
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	100%					
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	100%					
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行つ ているか。	100%					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75%	25%		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%			
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	75%	25%		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		研修会の情報を提供したり、一緒に学校や事業所の見学を行った。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		100%		訪問支援員として、訪問支援先の運営に口を挟むことは難しい。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		100%		個別の対応になるので、保育所等訪問支援について発信する必要性を感じていない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%			
訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	25%	75%		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先のマニュアルに従っている。 ・訪問支援先ごとにマニュアルは異なり、訓練を実施することは難しい。訪問先が行う訓練には参加したことがある。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	25%	75%		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・事務所内で共有するよりも、訪問先と共有した方が意味があると思うので、カンファレンスで伝えることもある。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		100%		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援の計画には身体拘束についての文言を載せているので、それを参考に保育所等訪問支援計画にも乗せても良いかもしれません。